

## <心理学について>

**Q：心理学の種類について、詳しく教えてください。**

A：和洋女子大学の心理学科では、発達、臨床、教育、学習、社会、産業にわたる心理学の幅広い分野を網羅したカリキュラム構成が特長です。人間の心の複雑な構造や動きにアプローチするため、幅広い領域から心理学を学んでいきます。

**Q：心理学を学ぶと実際にどのように社会に貢献できるのでしょうか？**

A：心理学が社会に貢献できる点は多くあります。例えば、発達心理学は子育てのサポートや就労支援、高齢者福祉などに活かされています。また、臨床心理学は、メンタルヘルスの向上や災害時の支援などに役立ちます。教育心理学は、学校・家庭・職場での教育効果を高めることに寄与します。その他にも、社会の色々な場面で、心理学の知識が応用されています。

**Q：心と身体はどのような関係があるのか教えてください。**

A：心と身体には密接な関係があります。例えば、緊張したとき人は心臓がどきどきしたり、手に汗をかいたりします。悲しいときは涙が出ますし、怒ったときは顔が真っ赤になるなど、心の変化が身体に作用します。そのような状態があまりにも続けば、身体の病気につながってしまう可能性もあります。心理学ではリラクゼーション法などを通して身体から心へアプローチしていく方法についても考えます。

## <授業について>

**Q：子どもの心理についてどれくらい学べますか？**

A：心理学科では子どもの心理に関する科目を数多く開講しています。例えば「乳幼児心理学」「障害者・障害児心理学」「発達心理学」「発達臨床心理学実習」などの科目（科目名は年度によって異なることがあります）で、様々な子どもの心理について幅広く学ぶことができます。

**Q：司法・犯罪心理学とはどのようなことを学ぶのでしょうか？**

A：刑法や少年法、児童虐待防止法などについて知り、刑務所、少年院、児童相談所などの機関の概要を学びます。また法務教官、家庭裁判所調査官、児童心理司など、心理学の知見に基づく活動と活動倫理について学びます。

**Q：感情・人格心理学とはどのようなことを学ぶのでしょうか？**

A：「人格」とは、「性格」や「その人らしさ」であるといえます。感情・人格心理学では、個人差はどのように説明できるのか、パーソナリティは測れるものなのか、感情の種類などについて学びます。感情・人格心理学を学ぶことで、自分自身や他者に興味を持ち、人間理解を深めることができます。

**Q：上手なカウンセリング法を学ぶことはできますか**

A：心理学科では「心理学的支援法Ⅰ」「心理学的支援法Ⅱ」「臨床心理演習（心理演習）」「発達臨床心理学実習」という授業を学年の進行に沿って開講し、上手なカウンセリング法について解説し、練習を行います。これらの授業を順次履修することによって、人の話を共感的に聞く技法が身についていきます。

**Q：心理学科の授業ではパソコン教室を多く使いますか？また、パソコンを使う場合、授業で何をする時に使うのですか？**

A：パソコン教室を使った授業はそれほど多くはありませんが、適宜パソコンを使う授業があります。文書を作成したり、計算する技能を身につけてもらう時に使います。その技能を使って心理学の統計分析を行ったり、レポートを作成したりするために使います。

**Q：卒業論文をきちんと書き上げられるか心配ですが、大丈夫でしょうか？**

A：本学では2年の後期からゼミ形式の授業（演習）が始まります。早い時期から少人数での丁寧な指導を行い、卒業論文作成に必要な知識を積み上げていくことで、最終学年で卒業論文がスムーズに作成できるようにサポートしています。

## <資格・進路・就職について>

**Q：「公認心理師」はどのような資格ですか？**

A：公認心理師は、心理職の国家資格です。心理学に関する専門的知識及び技術をもって、心の健康の保持増進に寄与することを目的としています。医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働分野などで活躍が期待されています。

**Q：「公認心理師」を取得するにはどうしたらいいですか？**

A：大学で必要な科目の単位を修得し、卒業後に2年以上の実務経験、または大学院での2年間の養成課程を経て、国家試験に合格してから登録を行うことにより公認心理師の資格を得ることができます。本学心理学科のカリキュラムでは、大学で必要な科目25科目（本学では30科目）を履修することができます。

**Q：「認定心理士」はどのような資格ですか？**

A：「認定心理士」は、心理学の専門家として標準的基礎学力と技能を修得していることを日本心理学会が認定する資格です。大学で心理学をしっかりと学んだことが証明され、認定心理士向けの研修会も行われています。さらに、「認定心理士」を取得する中で身につけた心理学の考え方や研究方法も、実際の人間関係や職場で役立ちます。

**Q：公認心理師や臨床心理士を目指して大学院に進学する人はどのくらいいますか？小・中学校のカウンセラーになるには教員免許が必要ですか？**

**A：**心理学科では、1学年で数名の方が大学院を目指している状況です。小・中学校のカウンセラーになるために教員免許は必要ありませんが、公認心理師や臨床心理士などの資格が必要になります。

**Q：アパレル関係に就職しても、心理学は役に立ちますか？**

**A：**アパレル関連の仕事でも、接客は顧客とのコミュニケーション力が必要となりますので、心理学の知識が生かれます。また購買行動に関する消費者心理学などは、マーケティングの研究につながります。アパレル関連の仕事に限らず、多くの一般企業や幅広い業種に心理学の知識は役に立ちます。